

# た か だ こ ら む

## 2023年度 溶接学会九州支部講演会

溶接学会九州支部講演会は、一般社団法人溶接学会の九州支部によって、毎年一回開催されている。本講演会では、学術的な研究のみならず製造技術への適用事例・新規製品（技術）開発などの溶接・接合技術を発表する場として、企業や公設試験研究機関などの若手技術者を歓迎している。今回、当社は以下の通り2件の研究発表を行った。

講演会で発表するためには、論文発表と研究発表のいずれかを選択し、原稿を作成する必要がある。なお、論文発表では論文査読委員会による査読が行われることから、投稿の締切りが講演会の2か月前となる。原稿は溶接学会九州支部講演論文集にまとめられ、科学技術振興機構（JST）文献データベース（J-GLOBAL）に収録されている。

### 1. 講演会の概要

日時：2023年8月31日（木）09:30～16:30

場所：九州大学 伊都キャンパス（対面）、Web方式（オンライン）

発表件数：論文発表 2件、研究発表 12件

参加者数：約50名

### 2. 研究発表の紹介

九州工業大学との共同研究講座（プラントライフサイクルエンジニアリング講座）および当社から2件を講演した。どちらも活発な質疑があり、とても好評であった。

（著者：敬称略、講演者：アンダーライン）



渡邊彰吾 さん（技術統括部）

題名：溶接ビード形状の自動判定技術と再現技術の確立

著者：渡邊 彰吾，小出 鷹史（技術統括部）

中野 正大\*（九州工業大学）

意見：自動判定技術は積極的に広めてほしい。

表彰盾のレプリカは斬新でとても良いアイデアで感動した。



山口ちひろ さん（技術統括部）

題名：二相ステンレス鋼の溶接部の耐食性におよぼす溶接補修の影響

著者：中野 正大\*，山口 ちひろ（技術統括部）

意見： $\sigma$ 相が析出する条件を熱弾塑性解析で検証したデータが早くみたい。

発表がとても明確で分かりやすかった。

中野 正大\*（技術統括部）

\* 九州工業大学 大学院 生命体工学研究科へ出向中